

F-4 東北・北海道地区居住者の老化現象に関する家政学的研究 (第4報)  
札幌地区居住者の生活状況および老化現象の性別・年齢別の比較

所属氏名 北海道女短大(久野又仁) 札幌女短大(野辺地スミ) 札幌静修短大(石本梅子) 藤女短大(伊藤弘子)

目的 札幌地区居住者の満65~70才に至る老人のうち74名を対象とし、聴取法で調査し、あらかじめ性別に分類した標本および年齢別に分類した標本について、それぞれ老化度の項目評点を求め、次の諸事項を検討した。

方法 1 男性グループ、女性グループでの年齢間の比較。  
2 老年前後期ごとの性別による比較。

結果 前述の対象者の生活状況は過半数が単身者であり、有職者は男性に多く、固定収入のあるものについては女性にもかなりの数認められた。情報吸収意欲は全般的に高い。その他生活意識、嗜好、食生活についても差認められた。また老化現象については平均値による総合老化度と各部門老化度の比較により、総合、機能、外見、精神意識各老化の項目に年齢、性別により順位に差認められ、また男性グループ、女性グループにおいて各項目間および総合について年齢間に差認められた。